

《令和6年度坂町教育行政方針「2学校教育」より》

(1) 礼節を基本とした教育の推進 (2) 確かな学力の向上 (3) 体力・運動能力の向上 (4) ICT教育の推進 (5) 防災教育の推進 (6) 特別支援教育の推進 (7) グローバル人材の育成 (8) 生徒指導体制の確立 (9) 保育園・子ども園・小・中学校連携・接続の推進 (10) 「地域とともにある学校づくり」の推進 (11) 安全・安心な学校環境の整備

学校教育目標

「本気」と「感動」

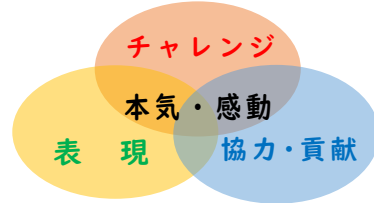
積極的にチャレンジする力 豊かに表現する力 相手意識をもって協力・貢献する力

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

○自立した社会人として必要な資質・能力を培い、坂町の未来を創る坂っ子の育成
急激に変化する時代の中で、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を身に付け、「ふるさと坂」に愛着と誇りをもった児童を育成する。

くめざす子供像>

- さ・・・「最後までがんばる子」
- か・・・「考えを深め合う子」
- しよ・・・「正直でやさしい子」
- う・・・「運動が大好きな子」



II ビジョン（めざす学校像・自校の将来像）

○みんなの積極的なチャレンジを後押しする学校 「礼節」「安全・安心」「個別最適な学び」
「礼節を重んじ、学校は楽しい・坂小で学んでよかった」と児童が思える学校。
「安全・安心して子供たちが成長でき、共に子供たちを育みたい」と地域・保護者とつながる学校。
「子供たち一人一人に寄り添いながら、自ら伸びよう」と教職員がチャレンジする学校。

III 現状分析

- ・児童会執行部を中心に、児童会行事が充実している。挨拶、黙動清掃も児童主体の取組となっている。今後、場に応じた礼節を意識して実行できるようにしていく必要がある。
- ・タブレット端末や電子黒板等、ICT活用による授業改善が進み、学習意欲と自分の考えをまとめ表現する力の向上が見られた。一方、複数の情報から必要な事項を読み取ることや、自分の考えを豊かに表現することには課題がある。
- ・命を守ることや、自分や友だち、家族を大切にすることへの意識は高まったが、生活リズムの乱れや人間関係づくりの難しさによる登校不安の児童が増加している。
- ・人材育成と指導力向上に向けた取組による教職員のモチベーションアップと、協働的な学び合いによるチーム力のさらなる強化が必要である。

IV 目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
【確かな学力】 主体的に学び、最後までがんばり、豊かに表現することができる児童	○基礎的な学力の定着 ○豊かな表現力につながる読解力の育成	・日常的な授業改善（ICTの効果的な活用・「理由付け」「比べる」） ・水曜道場・個別最適な学びの充実（SSR） ・カリキュラム・マネジメントの充実 ・授業、児童会行事等による読書推進
【豊かな心】 礼節を重んじ、友だちや家族を大切に思う心を持ち行動しようとする児童	○礼節の向上 ○思いやりの心の育成	・相手意識をもった挨拶の習慣化 ・めあてと振り返りの充実 ・委員会発信による取組の充実 ・児童の姿の価値付けと見える化による共有
【たくましい体】 体を動かすことが好きで、基本的な生活習慣が身に付いている児童	○体を動かすことが好きな児童の育成 ○健康を守る意識の向上	・外遊びの奨励（大休憩を20分間に延長） ・魅力ある体力づくり環境（サーキット、的当て等） ・生活リズムの改善と定着（メディアコントロール） ・感染症対策の共有（坂小くまちゃん）
【信頼される学校】 地域・保護者とつながる、安全・安心な学校	○地域・保護者との連携・協働 ○組織力の向上	・学校だより、学年だより、HP等による教育活動の発信 ・心に寄り添う生徒指導と教育相談（SSR） ・業務改善と組織的な危機管理・防災教育推進